

令和8年度 重点目標 「自ら問い、言葉でつながり、しなやかに挑み続ける」
～心の中に「やってみたい！やってみよう！」の火を灯そう～



とんぐり

佐呂間町立若佐小学校 学校だより
令和 8年 8月4日

～シンギュラリティ（特異点）～

佐呂間町立若佐小学校長 風 間 直 樹

夏休み真っ只中の8月、ご家庭でお子様はいかがお過ごしでしょうか。連日の暑さに夏らしさを感じる一方、熱中症には十分な注意が必要です。また、7月末には熊本で大きな地震がありました。被災された方に心よりお見舞い申し上げます。北海道でも地震が頻発しています。この機会に改めてご家庭の災害等に対する備えを見直していただければと思います。

さて、近年ニュース等で「生成AI」という言葉を耳にしない日はありません。皆さんは、「シンギュラリティ（特異点）」という言葉をご存じでしょうか。「AIの知能が人間の知能を超え、自律的に発展していく未来の節目のこと」を指します。かつては「2045年頃に訪れる」と予測されていましたが、近年の進化のスピードを見ていると、その時期はもっと早く訪れるのではないかと実感させられます。学校現場でも生成AIの導入が進んでおり、教職員の業務活用も始まっています。（実は本稿の推敲も手伝ってもらっています。）

「AIが人間を超える」と聞くと、「子どもたちの将来の仕事はどうなるのか」と真っ先に感じるかもしれません。私は「映画ターミネーターの世界が来るのでは」と不安を感じてしまいます。しかし、ここで大切なのは、AIをいたずらに恐れるのではなく、「正しく怖がり、賢く使う」という姿勢です。※災害についても「正しく怖がり、賢く備える」のが大事です。

「正しく怖がる」とは、AIのリスクや限界を正しく知ることです。AIは膨大なデータから「それらしい答え」を作ることが得意ですが、時に間違った情報を自信満々に提示することがあります。また、AIに依存しすぎると、自ら試行錯誤して考える力や粘り強さが育ちにくくなる恐れもあります。

その上で「賢く使う」とは、AIを「自分の思考を広げる相棒（パートナー）」として活用することです。「もっと面白い考えはないか」「自分の意見に抜け落ちがないか」と問いかけ、ヒントを得る道具にするのです。最終的にどの情報を信じ、どのような思いを込めて言葉を選ぶかを決めるのは、どこまで行っても人間にしかできません。

スマホやSNS、生成AIは、乗り方を教わっていない子にいきなりバイクを渡すような危険性も秘めています。補助輪をつけて自転車を練習するように、段階的に練習することも必要です。個人情報の扱いや著作権の問題も含め、「何でもAIに任せれば安心」ではないという境界線やリスクを知ることが第一歩です。小学校という学びの場で育てたいのは、AIには真似できない「実体験を通して感じる力」「相手の気持ちを想像する思いやり」、そして「本当に正しいか確かめる思考力」です。AIを学ぶ一方で五感を使った実体験や触れ合いなどが、これからの時代を生き抜く原動力になります。ぜひご家庭でも技術との付き合い方について話して頂き、子どもたちの豊かな創造性と人間性をともに育てていければと思います。

令和8年度（2026年度）8月の行事予定

1	土	夏季休業～8/19（水）	22	土	
			23	日	
10	月	夏季休業 学校閉庁日	24	月	読み聞かせ（3/4年）
11	火	夏季休業 山の日	25	火	
12	水	夏季休業 学校閉庁日	26	水	わかさっ子漢字 水泳③
13	木	夏季休業 学校閉庁日	27	木	夏休み作品発表会 参観日 給食試食会
14	金	夏季休業 学校閉庁日	28	金	読み聞かせ（5/6年） クラブ④
19	水	夏季休業 最終日	29	土	
20	木	全校朝会 職員会議	30	日	
21	金	読み聞かせ（1/2年） 委員会⑤	31	月	読み聞かせ（1/2年）

若佐小学校の一コマ 7月

町の図書館から4年生に「10歳の本」がプレゼントされました。

文化委員会主催
「みんなで本を読もう」



（高学年はオンライン） ←佐呂間小と一緒に外国語の授業です。→（低学年は合同で）



7/16-17 旭川 6年生の修学旅行です。 旭山動物園とイオンで佐呂間町の紹介～！！



畑にみんなが植えたもの
も順調に育っています。

←ハウスのへちま
さつまいも→

